



資産形成の学校

投資の基本講座

大失敗しない
積立金額の考え方

Q

私の場合、
積立金額をいくらにすれば
よいのかわからないです
どう考えたらいいですか？

A

生活防衛資金＋
直近5年以内に使うお金を
確保してそれ以外の金額は
投資に回すを基本にする

積立金額の基本的な考え方

基本的には、

生活防衛資金（生活費の6か月分）+直近5年以内
に使うお金を確保した上で、それ以外の金額は投資に回す

直近5年以内に
すぐ使うお金
（近い将来使う）

◇すぐ使うお金は暴落を考慮し、手元に置いておく
例)

- ・教育費に300万円かかる
- ・車を3年後に乗り換える
- ・家の修繕や家電製品を買い替える

生活防衛資金
（生活費の6か月分）

◇ケガや病気等のいざというときの当面の生活費のお金
また、暴落時に短期で売らないようにするためのお金

例) 毎月の生活費が約30万円であれば、約180万円

(参考) 直近5年以内に使うお金を確保する理由

基本的には、

生活防衛資金(生活費の6か月分)+直近5年以内に
使うお金を確保した上で、それ以外の金額は投資に回す



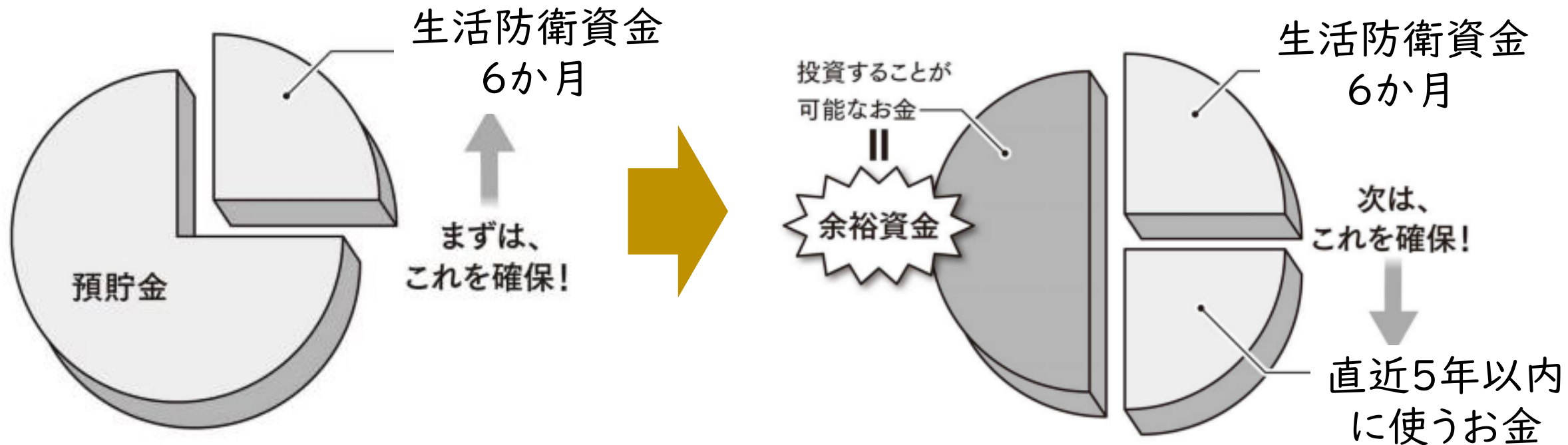
暴落が起きると、
暴落前の最高益に戻るまで
約5年間かかる可能性がある
↓

5年間は投資から
取り崩さなくても
よい金額を確保

積立金額の基本的な考え方

基本的には、

生活防衛資金（生活費の6か月分）+直近5年以内
に使うお金を確保した上で、それ以外の金額は投資に回す



貯金が少ない場合
積立金額の考え方

貯金が少ないの積立金額の考え方

生活防衛資金が貯まるまでは、ムリして大きな積立金額にしない

例) 貯金50万円、支出毎月30万円、直近5年以内に自動車300万円を購入予定
生活防衛資金 $30\text{万円} \times 6\text{か月} = 180\text{万円}$

毎月100円投資

毎月5000円投資

毎月3万円投資

生活防衛資金がたまっていくまでは、
投資金額より、預貯金を優先

直近5年以内に
すぐ使うお金
300万円

貯金
50万円

貯金
100万円

生活防衛資金
180万円

知識0から誰でもできる 完全ロードマップ

夢



貯金がある場合
積立金額の考え方

貯金がある場合の積立金額の考え方

投資に少しずつ慣れてきたら、余剰資金は投資に回していくと安心できる

例) 貯金1000万円、支出毎月30万円、直近5年以内に自動車300万円を購入予定
生活防衛資金30万円×6か月=180万円なので、 $1000 - 300 - 180 = 520$ 万円が余剰資金

毎月100円投資

直近5年以内に
すぐ使うお金
300万円

生活防衛資金
180万円

毎月5000円投資

直近5年以内に
すぐ使うお金
300万円

生活防衛資金
180万円

毎月3万円投資

直近5年以内に
すぐ使うお金
300万円

生活防衛資金
180万円

貯金がある場合の積立金額の考え方

投資に少しずつ慣れてきたら、余剰資金は投資に回していくと安心できる

例) 貯金1000万円、支出毎月30万円、直近5年以内に自動車300万円を購入予定
生活防衛資金30万円×6か月=180万円なので、 $1000 - 300 - 180 = 520$ 万円が余剰資金

毎月3万円投資

直近5年以内に
すぐ使うお金
300万円

生活防衛資金
180万円

毎月30万円投資 (NISAのMAX)

直近5年以内に
すぐ使うお金
300万円

生活防衛資金
180万円

520万円の余剰資金
12か月で割ると、約40万円。
があっても積立投資が基本



新NISAの上限の毎月30万円
まで投資金額を引き上げて積立

別の考え方
逆算をする方法

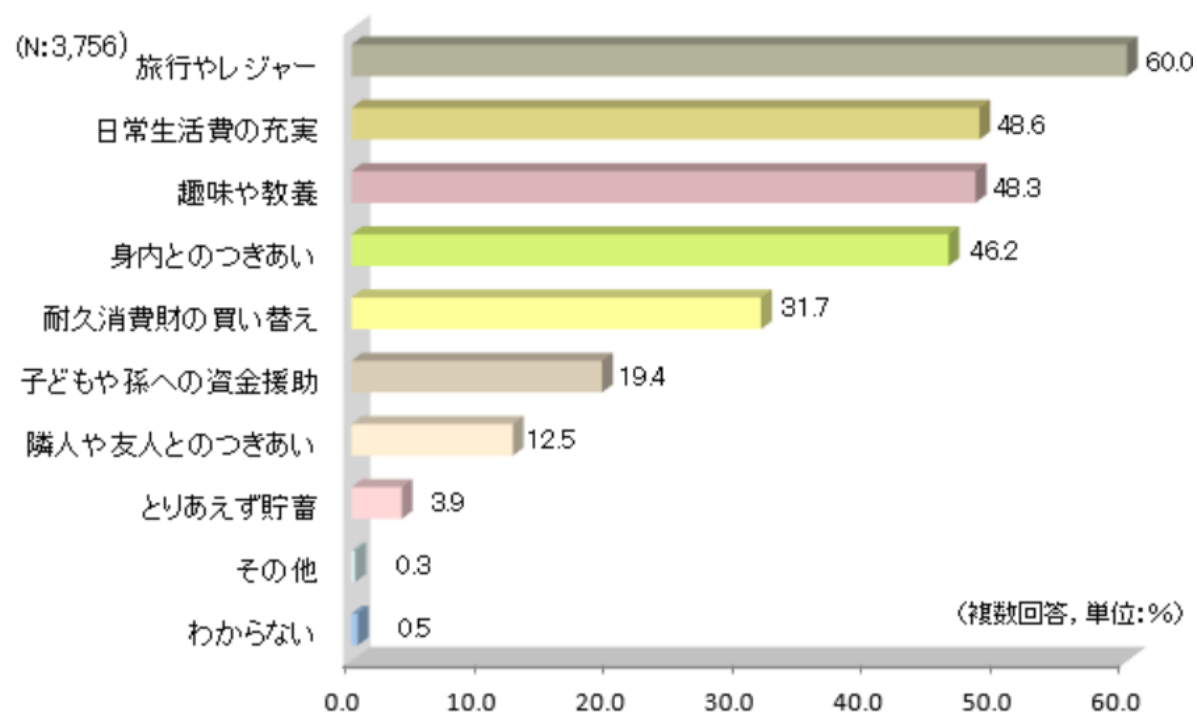
参考 老後資金にいくら必要と考えるのか？

老後までにいくら必要だと考えて資産形成をするのか、目的を確認する

◇ 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」／2022（令和4）年度

- ・最低日常生活費 : 平均23.2万円
- ・ゆとりのある老後生活費 : 平均37.9万円

ゆとりのある老後のために、上乗せして必要だと考える理由



計画的な資産形成には、
目的をしっかりと定めるのが大切！

どんな老後を迎えたいでしょうか？
そのためにいくら必要でしょうか？

資産形成の目的を確認

参考 必要な金額を叶えるため積立金額をシミュレーション

例えば、2000万円を達成したい場合には、
年利4%で毎月54,529円を積立する必要がある

基本条件

空欄の「最終積立金額」「積立期間」「リターン」をご入力ください。
「最終積立金額」達成に必要な月々の積立額が計算されます。

? [使い方](#)

最終積立金額

?

20000000 円

積立期間

?

20 年 ヶ月

リターン

?

4 %

計算

クリア

目標額を達成するには、
毎月

54,529円

の積立が必要です。

(参考) 実際に必要な金額を逆算して考えてみる

例) 50歳の夫婦が70歳まで働いて、100歳まで長生きした場合

$$\begin{array}{ccccc} \begin{array}{c} \text{公的年金} \\ 21 \text{ 万円/月} \end{array} & \times 12 \times & \begin{array}{c} \text{受給年数} \\ 30 \text{ 年} \end{array} & + & \begin{array}{c} \text{他の資産} \\ \text{〇万円} \end{array} & = & \begin{array}{c} \text{老後の収入} \\ \text{〇} + 7560 \text{ 万円} \end{array} \end{array}$$

$$\begin{array}{ccccc} \begin{array}{c} \text{生活費} \\ 24 \text{ 万円/月} \end{array} & \times 12 \times & \begin{array}{c} \text{受給年数} \\ 30 \text{ 年} \end{array} & + & \begin{array}{c} \text{他支出} \\ 1500 \text{ 万円} \end{array} & = & \begin{array}{c} \text{老後の支出} \\ 1 \text{ 億} 140 \text{ 万円} \end{array} \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \text{他の資産} \\ \text{〇万円} \end{array} = \text{老後の支出} - \text{老後の収入} = \begin{array}{c} \text{他の資産} \\ 2580 \text{ 万円} \end{array}$$

Q

将来に必要な金額を
逆算した積立金額が
間違っていたら不安です
どうしたらよいですか？

A

逆算も大切だが、最初から完璧に逆算はできないので土台となるお金を確保してそれ以外の金額は投資に回すを基本にする

逆算の計算を
間違えた場合

逆算で決めた積立金額で間違えると、足りなくなる可能性も

間違えて逆算で決めた積立金額

ご入力ください。
れます。

? 使い方

最終積立金額	? 20000000 円	 
積立期間	? 20 年 ヶ月	
リターン	? 4 %	

目標額を達成するには、
毎月

54,529円

の積立が必要です。

例) 資産2000万円が
必要だと試算がでたので
シミュレーションで逆算して
54529円を積立していた。

しかし、家の修繕費などの
費用が漏れてしまったおり、
実際には3000万円が
必要だと試算がでてしまった

正しい積立金額

最終積立金額	? 30000000 円	 
積立期間	? 20 年 ヶ月	
リターン	? 4 %	

目標額を達成するには、
毎月

81,794円

の積立が必要です。

逆算で求めてしまうと、
間違えた時に足りなくなる
可能性が出てきてしまう

間違えると積立金額が大きく貯めるのが難しい可能性も

運用期間が短くなると、時間が味方につけられないので積立金額がふえる

20年で3000万円を貯める場合

最終積立金額	?	30000000 円	 クリア
積立期間	?	20 年 ヶ月	
リターン	?	4 %	

目標額を達成するには、
毎月
81,794円
の積立が必要です。

例) 資産3000万円
20年の場合と15年の場合で
かわる積立金額を比較

20年の場合: 87794円
15年の場合: 121906円

15年で3000万円を貯める場合

最終積立金額	?	30000000 円	 クリア
積立期間	?	15 年 ヶ月	
リターン	?	4 %	

目標額を達成するには、
毎月
121,906円
の積立が必要です。

逆算で求めてしまうと、
間違えた時に、挽回するには
積立金額をふやさないと
達成することができない……

Q

将来に必要な金額を
逆算した積立金額が
間違っていたら不安です
どうしたらよいですか？

A

逆算も大切だが、最初から完璧に逆算はできないので土台となるお金を確保してそれ以外の金額は投資に回すを基本にする

Q

私の場合、
積立金額をいくらにすれば
よいのかわからないです
どう考えたらいいですか？

A

生活防衛資金＋
直近5年以内に使うお金を
確保してそれ以外の金額は
投資に回すを基本にする